

評価結果反映状況一覧

公立大学法人首都大学東京の平成 30 年度評価結果の主要な反映状況

評価項目	平成 30 年度評価における 主な指摘事項	令和元年度の業務運営等への反映状況
大項目番号 7	科学研究費補助金の新規採択率は、国による研究種目の見直し等もあり、低位に推移していることから、今後も更なる分析を進め、様々な支援の検討が求められる。	<p>科研費新規採択率 30%達成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none">・特に新規採択率の低下が顕著だった「若手研究」種目について、平成 30（2018）年度に申請書類の組織的な作成支援をしたことにより、令和元（2019）年度の新規採択率は 30%以上を上回ることができた。・令和 2（2020）年度の新規採択率の更なる向上を目的に、令和元（2019）年度は、研究種目を限定せずに申請書類の組織的な作成支援や、キャンパスごとに科研費セミナー、ワークショップ及び科研費説明会等を実施した。 <p>（詳細は、令和元年度東京都公立大学法人 業務実績等報告書 中期計画 No. 1-28（1）、特記事項 I-2 参照）</p> <ul style="list-style-type: none">・令和 2 年度は、科研費新規採択率 30%以上を継続して達成するため、引き続き効果的な対策を検討・実施することとし、年度計画に反映した。